

学園だより

# 大学・短期大学部

Contents

- TOPICS / 工場見学ツアーで職業観を養成
- PEOPLE / 学生アドバイザーの取り組み
- 就職の筑女 / JAくるめ(古賀彩さん) / 濱崎真実さん / 堀江裕子さんの巻



## 職業に対する意識を高める 「工場見学ツアー」に多くの学生が参加!

**今年度は5社の協力を得て見学体験を実施しました**

**本** 学では、今年度から社会的職業の自立に関する教育(キャリア教育)の一環として、福岡近郊に拠点を置き、グローバルに事業展開をされている様々な職種の工場へ見学ツアーを開催しています。昨年7・8月

訪問では、株式会社山口油屋 福太郎 株式会社西日本新聞社 久光製薬株式会社、株式会社筑水キャニコム、株式会社寺松商店(敬称略)のご協力を得て、貴重な見学体験をさせていただきました。

働くとは? 社会に貢献するとは? 自己実現とは? ... 生の職業現場を体験し、現場の方々と意見を交わすことで、頭で考えていたイメージとしての職業観が、リアルな職業観へと変化していきます。

見学前は事前研究として、企業に対する第一印象や、ホームページを見て抱いた疑問・興味などに就いてまとめ、見学後に解決した疑問、深まった興味、企業の課題、社会へ貢献していること等をレポートとしてまとめ、いくことで、グローバルな視点と、職業に対する意識を高めていきます。



▲古紙リサイクルを主事業とする(株)寺松商店を訪ねた学生たち。現地での説得力ある説明に、自らの職業観を改めて見つめ直す良い機会になりました。



参加学生からは、「ホームページやパンフレットを見るだけでは、できる限りその会社に直接行き、雰囲気を感じて、自分に合っているかを判断する必要があると感じました」「現在はグローバルな時代で、語学ができる人材が足りないという現実も分かり、就職の視野が広がりました」「福利厚生がしっかりしているとかわれていますが、育児休暇などの取得率ほどの程度なのか。また、全体に対する女性職員の割合はどの程度なのかを知りたかった」という感想が寄せられ、進路を決める上で大きな刺激となり、具体的な職業観を養うきっかけとなったようです。

## People

### キャンパスライフをサポートする SA(学生アドバイザー)たちの取り組み

学生アドバイザー(Student Advisor、以下SA)は、学科を問わず2~4年生の学生によって組織されています。現在所属しているのは20名で、広報班、相談班、イベント班、合宿・研修班の4班に分かれて活動中です。主な活動としては、チュードントルーム(SR)と呼ばれる自習教室の管理・運営を基盤として、それぞれの班の役割をこなしつつ、相談ノートによる間

接相談や、口頭で受ける直接相談も行っています。SR内では、自習以外にも文具の貸出を行ったり、コピー機、印刷機を利用することもできます。それらを利用される方々の手伝いはもちろん、快適に過ごせるような空間づくりにも努めています。また、「日経ネット」と呼ばれる壁新聞も作成し、その日のニュースをもとに分かりやすく作成・掲示することで、利用者の皆さんに今、社会で注目されている話題について知ってもらえるように努力しています。



今年度の夏休みには、楽山荘でメンバー合宿を行いました。合宿では、1分間の他己紹介をしたり、講師の方をお招きしてお話を聞いたり、それぞれのSAのスキルアップに繋が

### 【大学日本語・日本文学科 3年 落合真梨】

研修を行いました。また合宿では、SA内の交流を深めるためにバーベキューや花火をして、楽しい時間を過ごすことができました。限られた時間の中で「スキルアップの時間」と「交流の時間」のメリハリをつけ、合宿はとても充実したものになりました。



▲夏休みに行われた合宿のひとコマ。(福岡市早良区にある本学園研修所「楽山荘」で実施)